

事業名	家庭教育支援の推進	評価実施者	所 属	社会教育課
			職・氏名	課長 南 健次

主要事業の概要	開始年度	平成16年度	根拠法令等	教育基本法	特定財源	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他〔 〕				
	目的	基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどの基礎を子どもたちに育むことを目的とする。				
事業内容	地域全体で家庭教育の推進を図ることを目的に関係機関、団体が連携して、滝川市家庭教育支援連絡協議会を組織し、次のことを重点に取り組んでいる。 1. あいさつ運動の推進(街頭啓発など) 2. 家庭教育機会・情報の提供(講座の開催、情報紙としてふれあい通信の発行など)					

事業コスト	区 分	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	特 記 事 項
	事業費(A)	300	414	1,903	1,836	315	
	うち一般財源	300	414	279	262	315	
	人件費(B)	9,638	8,741	8,522	8,796	7,696	
	総コスト(A)+(B)	9,938	9,155	10,425	10,632	8,011	
							H20年度 文科省委託事業費(1,624千円)H21年度 文科省委託事業費(1,574千円)

実績と成果	区 分		単 位	H18	H19	H20	H21	H22	左記以外の21年度の実績・成果	
	事業の実績 (アウトプット)	1	講座等の開催	回		1	5	5		
		2	ふれあい通信の発行	回	1	1	1	4		1
		3	企業等訪問活動	社・か所				35		
	事業の成果 (アウトカム)	1	近所の人にあいさつする	%		74	80	87		
		2	7時前に起床する	%		74	71	78		
3		家の手伝いをする	%		71	74	77			

評価項目	点数	判定及び説明・考察	
1 適応性 有効性	8	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
都市化、核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭の教育力の低下が指摘されるなど、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。教育基本法では、「地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。」とされている。今後、より効果的な具体的なプログラムに取り組む必要がある。			
2 目標 達成度	7	③目標の水準は適切か。	<input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		④計画通りに目標を達成できたか。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
家庭教育を支援するためには、より具体的な事業展開が必要であり、家庭への浸透には理解と時間を要するため、小中学校の入学時説明会を活用したミニ講話で、食育や子どもの成長に応じた生活習慣などの学習機会を提供するとともに、学校ふれあい広場を開催し、地域の人たちとの交流を通してのいたわりや、思いやりを学ぶ機会を提供した。また、家庭教育情報誌「ふれあい通信」の内容の充実を図り、情報提供を行った。滝川市オリジナルの家庭教育指針である「子育て10選」を基本とし、より効果的な手法を探るため家庭教育に関する現状を把握するため家庭教育(子育て)に関するアンケートを実施し、「子どもの健やかな成長のための基本的な生活習慣の定着」をあらためて考えていく必要があることを認識した。			
3 経済性	3	⑤コストは縮減しているか。	<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
文部科学省の委託事業「訪問型家庭教育相談体制充実事業」を活用しコスト削減が図られた。			

総合評価	合計	18	ランク (A~E)	B	上記評価を踏まえた事業の課題	滝川市の家庭教育指針である「子育て10選」をより具体的に進めるための効果的な事業展開と市P連との密な連携を図り親や地域を巻き込んだ具体的な事業展開の仕掛け
	100点換算	72				

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている  
 B : 71~85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている  
 C : 56~70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある  
 D : 41~55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である  
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判定					点検・評価に関するコメント	
1 適応性 有効性	8	①	<input checked="" type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	大変難しい事業であるが、事業の概要は極めて妥当である。目標達成度については、例えば年度ごとに達成度を小刻みに見ていくなど、改善の余地はあるのではないかと。目標水準が適切かどうかでみると、その設定に問題があるのではないかと。どこに対しての目標設定を行い評価するかを明確にしないと難しい。
		②	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	
2 目標 達成度	7	③	<input type="checkbox"/> 5	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	
		④	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	
3 経済性	3	⑤	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	
合計		18	100点換算	72	ランク	B		